

第7回高山駅周辺地区まちづくり協議会 公共空間検討部会議事録要旨

日 時 平成19年11月21日(13:30～15:00)

場 所 高山市役所 301 会議室(3階)

出席委員 8名

《基盤整備部長挨拶》

《部会長挨拶》

《議事》

報告事項

区画整理事業の進捗状況について

協議事項

駅舎・自由通路のデザインについて

事務局より説明

《質疑等》

区画整理事業の進捗状況について

委 員：アンダーパスの幅員は何mですか。

事務局：全体幅員は11m。北側に3.5mの歩道を設けます。

部会長：高山インターができて、駅周辺の交通の流れはどうになりましたか。

委 員：国道158線の利用は減ったと思われます。

委 員：高山国道工事事務所にて今月中に統計が出される事になっている。高山西インター45%、高山インター55%といった利用状況であると聞いた。

委 員：今後インターの影響を調べた方が良いと考えます。

駅舎・自由通路(デザイン)

委 員：JRからこのような案が提出された。高山市で関係のある担当の方3名に出席頂いているので意見を聞きたい。

事務局：駅舎について高山市の町屋をそのままイメージすると違和感がある。

高山の伝統的建物というと、町屋・武家屋敷・寺といったものになるが、いずれも駅舎に求めようとすると大変重いイメージの建物になってしまう。

この案は部分的に壁面に高山らしさがでていたので良いのではないかと思います。

委 員：案について、高山市の意とするところはくんであると考える。

デザインについて、今後町の中の建物がこのような建て方であって欲しいという思いを持っている。

この案はその思いをかなり取り入れられていると考える。

この駅舎は、将来的に他の見本となる建物となると考える。今後デザイン的にも十分検討していく必要がある。

委 員：古い町並みのイメージをそのまま持つと建物の規模が大きいのでは重苦しいものになってしまいかねないが、この案は重苦しくならないように高山をイメージしたものになっていると思う。

景観計画の中で、建物については格子などを積極的に取り入れるようになっており、この案にも格子が取り入れられているので良い。しかし、この地区は防火地域となっているので木を使う事は無理である。今後格子のイメージをどう出すか検討が必要であると考える。

部会長：融雪は必要ですか。

委員：構造計算で積雪荷重を大きく想定することによる耐雪型の建築も可能ですが、軒先程度には融雪装置の対応が必要と考えます。

部会長：駅舎のデザインの基本はＪＲが行なう。自由通路も全国的にＪＲが行なっている。ただし細部についてはまだ意見を言える段階である。

この案は部分的なデザインや駅前広場の意見は反映してもらっている。

交番の位置についてはどうになりました。

事務局：東側で考えていきたいが、面積等について今後警察と協議が必要となる。

部会長：駐輪場はどのようなのですか。

事務局：東西にそれぞれ２００台の駐輪場を予定しています。

部会長：観光案内所は自由通路ではなくなったのですか。

事務局：２階に案内所をつくると、車で駅にきた人が案内所を利用しようとした場合２階まで上がらなければならない。今のような形態が良いと考えます。

部会長：他に意見はありませんか。

事務局：駅舎はＪＲの資産だが、自由通路の突き出し部分が６ｍもあるので、下げてもらうよう依頼しています。

デザインの主体はＪＲが出してきたものなので変わらないが、詳細な部分は修正可能と考えています。

委員：公共空間検討部会の意見を取り入れこの案が決まった。

案内やサインが見えなくなるので、自由通路の出っ張りは引っ込めて欲しい。

広場の管理は市ですか。

事務局：市です。

委員：融雪のことを考えてほしい。

委員：バスターミナルはこれで良いですか。

委員：自由通路が出っ張っていると道線がそこで途絶えてしまうので、避けて欲しい。

委員：タクシーについては、スペースが確保されていれば皆で協議して利用を決めればよいので問題ない。

現在、１５台くらいタクシーが入っているので、新しい場所で何台とめられるかが問題となる。

事務局：タクシーについては、西側にも停められるようになります。

委員：構内営業権の話はどのようなのか。

事務局：今後ＪＲと協議する必要がある。

委員：西側のバスベイと自由通路との距離はどれくらいあるのですか。

事務局：決まっていません。

委員：バスを待つ場所は利用者が多くなる。待つ人が溢れてしまわないよう空間を設

ける必要があると思う。

パースの中で自由通路の上にボツが書かれているが、多分明り取りだと思う。直接明かりを取り入れるのと、何かかませて間接的に取り入れる方法があると思うがどうなるのですか。

駅舎の屋根の材質はどのようなものですか。

委員：まだ具体的に決まっていない。

委員：駐輪場も駅舎と一体のイメージとなるよう配慮して欲しい。

事務局：駅舎と自由通路を主として考えているが、その他の施設に関しても一体感のあるものにしたいと考えます。

部会長：自由通路を自転車は通れるのですか。

事務局：通れません。

委員：JRで通う生徒は切符を買って中の待合室で待つ想定となっている。

送迎については、迎える場所を想定してほしい。

今は列車が入ってきた事が分かるが、新しい建物では列車が見えない。見えたほうが良いのでは。

部会長：待合室について今と大きく違うのは、新しい駅舎は待合室が改札の中にしかない。

委員：休憩場所というのは天候の悪い時には特に必要であると考える。

駐輪場は東西各200台ということだが、自転車の利用者の把握はしているのか。足りないのでは。

事務局：調査を行い、高校生の利用者は約250人だった。

委員：駅東側のベンチで休んでいる人がたくさんいる。この案には無いように見えるが必要なのではないですか。

事務局：駅前には公園的な空間にと考えているのでベンチは設ける予定である。

部会長：交番の位置はどうか。

委員：交番は東側に欲しい。車で駅にきた人にも場所が分かったほうが良い。自由通路の影にならないようにすべき。

現在駅前で送迎バスの乗降が行なわれている。本来道路に面したところに乗降場は良くない。送迎バスへの乗降は西側にすべきと考える。

事務局：警察の本省とは協議を行なっている。

部会長：今は駅での出迎えは改札の前で行なわれているが、新しい駅では自由通路の前で出迎えが行なわれると予想される。

自由通路を出てスムーズに出迎えが受けられるよう工夫が必要と考える。

委員：自由通路の長さは。

事務局：約70mです。

委員：列車の検収場所や線路はこんなに広く必要なのか。実際使われていないのでは。

事務局：検収庫については、列車の整備やラッセル車の待機場所となっている。線路の幅については、朝出発する前の列車が待機している。

委員：駅からドラマが始まるので、自由通路に工夫があると良い。待ち合わせ場所も

良いものが欲しい。

事務局：自由通路については幅が8 mで通常の道路と同じくらいなので、通路で待ち会えたり、展示的空間を設ける等の工夫ができれば良い。

他の都市で、通路を見通しが悪いものにした為に犯罪が起きたと聞いた。通路はオープンなものにしたい。

部会長：駅舎等については今後どう進めるのですか。

事務局：部会でこの案が良いということであれば、まちづくり協議会に諮ることになります。

J Rとの覚書では、駅舎は地平となっている。今後は駅舎のタイプについて変更する必要があります。

委員：自由通路のサインはどこが権利を持つのですか。

事務局：高山市です。

委員：西側への誘導も高山市ということですか。

事務局：そうです。

部会長：サインについては、お金を取ってそれを基に良いものにしたらどうかと思う。

委員：2階に駅の機能が設けられるということだが、自由通路以外に2階に上がれるようにできないのか。他からも2階に行けた方が良いと思う。

事務局：他から上がれるようにするといった大幅な変更は、J Rは受けてくれない。

部会長：自由通路に待合空間を求める必要があると思う。

委員：自由通路の外壁のデザインも工夫した方が良いのでは。駅舎と統一するなどして。

委員：通路等の外側に木の板を貼ることは可能ですか。

委員：木の板を貼るのは難しい。不燃加工してあったとしてもすぐに可能であるとは言いきれません。

部会長：コインロッカーはないのですか。

事務局：このパスには無いが、あると想定しています。

部会長：観光で有名な高山なので、改札を出てホテルに行かなくても、すぐにチェックインができ、荷物もその場で預けられるといった便利さがあると良い。

委員：駅にキャッシュコーナーがあると良い。

部会長：協議会終了後でも、何か意見が思いついたら事務局までお願いしたい。

事務局：駅前広場の機能については、今後他の団体と協議しながら決めていきたい。

高山駅は東西の幅が狭いため、道路沿いでの乗降については警察と今後協議を行なう必要があると考える。

部会長：自由通路のとび出し部分については今後検討が必要であると考えます。

《閉会》